

市村清を辿る 佐賀MAP

Following Ichimura Kiyoshi Saga MAP



おすすめモデルコース<佐賀>

徒歩2時間コース(佐賀駅起点)

市村清 モニュメント

佐賀ゆかりの偉人としてのモニュメント手に持っているものは何?



市村記念体育館

市村清の胸像が体育館の入り口に向かって左脇に設置されています



サガテレビ

1Fのカフェで休憩タイムロビーには、佐賀県のものづくりを紹介するアンテナショップもあります



清恵庵

幸恵夫人が寄贈した茶室を30分ほど見学(要事前予約)



佐賀西高校

市村が学んだ佐賀中学の後身校門の外から眺めて移動



佐星醤油

理研感光紙を保管していた筒や保存箱など展示品の見学ができます



市村清にとっての佐賀は佐賀中学に入学し(2年で中退)その後ビジネスマンとしての基礎を築いた地です。市村記念体育館の寄贈やサガテレビの設立など市村清の郷土愛人柄から三愛精神のルーツを学ぶことができます。彼が佐賀に残した偉業を辿りながらレガシーが多く残る歴史の街佐賀を散策しましょう。

生まれ故郷の佐賀県みやき町へは、佐賀市内から国道34号線を福岡方面に約20km鳥栖市に隣接しているよ

モデルコース<みやき町>

車で1.5時間コース

みやき町

千栗八幡宮

神亀元年(724年)に創建。1940年に市村が多額の寄進を行い改造されました



北茂安小学校

市村の母校。1958年に講堂を寄贈しました

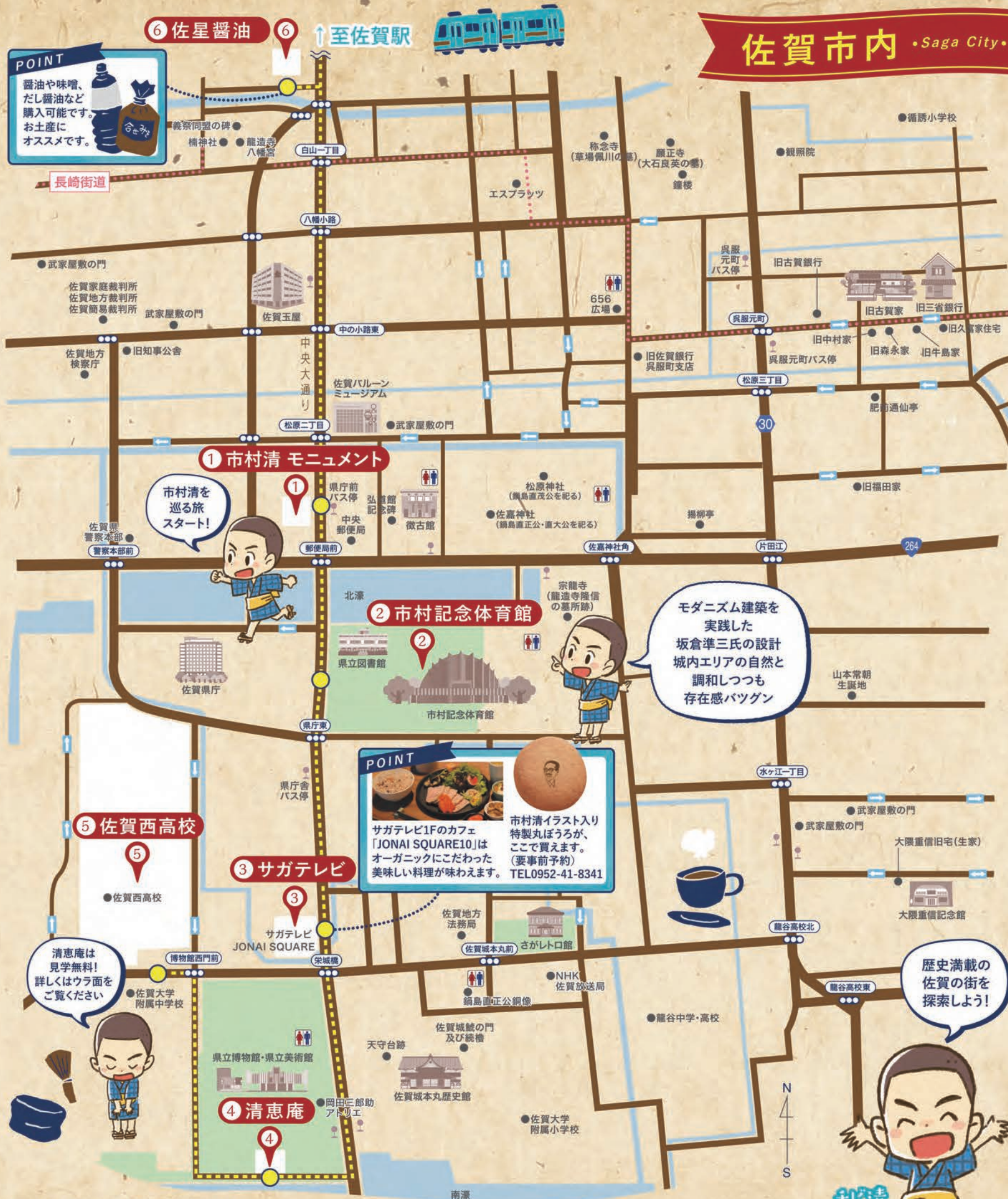


市村記念公園(生家跡)

市村清生誕100周年を記念し、生家のあった場所を三愛会が公園として整備しました



おすすめモデルコース ルート



発行:リコー三愛グループ 三愛会 改訂:2019.2.15



みやき町・Miyaki City・

市村清は、佐賀県みやき町の農家の長男として生まれ
少年時代をみやき町で過ごし、19歳のときに上京しました。



ゆかりの地のご紹介



幕末維新博に合わせて、佐賀ゆかりの偉人25人の一人に選ばれ設置されました。
Address: 佐賀市松原1中央大通り沿い、松原2交差点付近



故郷佐賀県の青少年スポーツ振興のために、市村が私財を投じて寄贈した体育館です。
TEL: 0952-22-8024
Address: 佐賀市城内2-1-35 市営バス「県庁舎前」下車7分
http://www.seika-spc.co.jp/saga-undo/?page_id=28



1968年市村が設立。佐賀県内唯一の民間放送局。「三愛精神のルーツを辿る」ビデオは、1Fのカフェでリクエストしてください。
TEL: 0952-23-9113
Address: 佐賀市城内1-6-10 市営バス「サガテレビ前」下車
<https://jonai-square.jp/>



市村の遺志により、幸恵夫人が1973年に寄贈した茶室。現在は佐賀県立博物館が管理をしています。

清恵庵 見学申し込みについて
希望日の1週間前までに、県立博物館総務課にTELで申し込みを見学は平日のみAM9:30~PM4:30まで見学のみならば、入場無料
TEL: 0952-24-3947
詳しくは、<http://saga-museum.jp/museum/news/2016/03/001129.html>



市村が学んだ佐賀中学校の後身。



富国徴兵保険と理研感光紙の代理店を兼業。ここで、保険外交員だった市村が理研と運命の出会いをしました。
TEL: 0952-23-4624
FAX: 0952-23-4627
Address: 佐賀市唐人1-1-16
HP: info@saboshi.co.jp
定休日: 土日、祝日



神亀元年(724年)に創建。1940年に市村が行った多額の寄進や地元有志の寄進により社殿が改造され、佐賀県唯一の格式の高い神社(国幣小社)へ昇格となりました。市村の寄進は、神社内陣に充てられたため、一般の参拝客の目に触れるものではありません。
<http://www.miyakikankou.jp/main/53.html>



市村の母校。1958年に講堂を寄贈。
<http://cms.saga-ed.jp/hp/kitashigeyasu-e>



市村清生誕100周年を記念して、生家のあった佐賀県三養基郡みやき町の生家跡地(500m²)を市村茂人氏(実弟)がみやき町に寄贈。三愛会が公園として整備し、市村記念公園として現在に至っています。生家跡にあったモチの木、キンモクセイ、ソテツなども移植されています。

